

東京庄原格致会会報

第25号

2017年9月

発行人・積山弘佳
編集人・西川進
印刷所・(株) クレスコアース
ゴキョウエージェンツ

二十八度総会・懇親会の報告 6年ぶりに母校校長先生を迎えて 28年度総会・懇親会、 盛大に行われる!!

平成28年10月23日(日)、JR四谷駅傍の主婦会館プラザエフに会員50名が集い、東京庄原格致会平成28年度総会が開かれました。(詳しくは、HPに載せていますので是非ご覧ください。)

来賓として、母校今岡護校長先生、同窓会本部副会長の藤光有様、同じく副会長の藤谷善久様、庄原実業高校東京支部副支部長の上田知江様、世羅高校東京校友会理事の後藤峰登様、東京広島県人会の小林正治様に参加していただきました。

11時半からの受付が始まった会場内には、カープの日本シリーズでの躍進・優勝を願って応援歌が流され、ユニホームも飾られたほか、リオ・オリンピックク200m

平泳ぎで優勝の金藤理絵選手の号外(中国新聞)、平成10年卒の落語家・林家ひろ木(本名・沖上比呂志、平成29年春に真打昇進)さんの名前入りタオルなども展示されていきました。

受付・母校百二十周年記念事業募金受付は、48年卒の皆さんが中心になって行っていたいただきました。

寺川勝海幹事長(37年卒)の開会宣言で始まった総会は、冒頭、この一年間に鬼籍に入られた4名の会員の方のご冥福をお祈りして全員で黙祷を捧げました。

積山弘佳会長(35年卒)から、「本日参加してくれている若い会員のパフォーマンスへの期待」、「カープの応援」、「金藤選手、藤川選手(青学陸上部で昨年の箱根駅伝で活躍)など郷里出身者の活躍に期待」、「東京庄原格致会としては、

会員の減少もあり、今後、何をしたいけば良い



のか、皆さん方のお力添えを頂きながら頑張っていきたい」などの挨拶がありました。

その後、今岡校長先生から、母校の状況について「国公立25%達成」、「放送部作成の昔のビデオを学校のHPに掲載」、「広島県立大学・日赤病院と協定を結んで、現地に出て活躍」などのお話をいただきました。



藤光副会長からは、スライドで庄原市の現況について、「人口減少が続いており、平成52年には2万4千人になる見込み」、「金藤選手の祝賀パレードは、庄原市民8千人が祝福」、「庄原焼き(お好み焼き)の紹介」、「庄原駅・芸備線の廃線化防止」、「格致高校は薬物乱用防止活動でライオンズクラブとタッグを組み、防止啓発活動」等々、近況について報告いただきました。



近畿格致会からの祝電披露があった後、武広巖事務局長(48年卒)から27度事業報告・決算報告が行われました。会員の減少が続いていることも



出席された皆さん

あり、翌期への繰越金がいよいよ底をついてきたとの苦しい財政状況が附言され、塚原通彦監事（38年卒）から監査報告を受けて満場一致で承認され議事を終了しました。

次いで藤谷副会長から「庄原格致高等学校創立百二十周年記念事業募金」の記念事業の内容（校庭内の庭園整備が中心）の説明があり、募金への協力要請がありました。



記念写真の撮影を終えて懇親会に移り、司会役は福場美知留副会長（45年卒）に、乾杯は室伏孝一さん（25年卒）にお願いして、カンパイを「弥栄（いやさか）」と発声してスタートしました。

料理、アルコールを愉しんでいる中で、宴会場担当者が61年卒の山口康志さんであることが分かり一同ビックリ、一段と盛り上がりました。

空腹がおさまった頃に、来賓の上田さん（実業）、後藤さん（世羅）、小林さん（県人会）から祝辞をい

ただきました。中でも上田さんは金藤選手の親戚ということもあり金藤選手の東京オリンピックでの活躍に多いなる期待が寄せられました。

場内には母校の校歌・応援歌が流され、「それ行けカープ」も加わり盛り上がる中、最年少参加者の坂口直樹さん（平成8年卒・書家・詩人・ギターも弾くシンガーソングライター・料理アドバザーなど他方面で活躍中（昨年の会報で紹介）が筆を使つてのパフォーマンスで一層盛り上げてくれました。

恒例になった郷土民謡「敦盛さん」（庄原市無形文化財）を保存会の大岩征子さん（旧姓：花好、37年卒）をリーダーに歌い上げ、校歌・応援歌を歌い上げる中でファイナーレを迎えました。

中締めを金森裕雄先輩（25年卒）の「来年も元気に再会しましょう」との挨拶を添えて一本締め。事務局が用意した郷里のお土産を手に三々五々会場を後にしました。

※事務局から総会開催日を土曜日にするについて、参加者に意見を求めましたが特段の反対

はありませんでした。今後、土曜日開催について検討することとします。今後の都合もあり、従前通り、日曜日に開催することとしました。



坂口直樹氏書道パフォーマンス



乾杯室伏孝一



司会福場副会長



懇親会の一コマ



懇親会の一コマ



懇親会の一コマ

出席者名簿

今岡 護	庄原格致高校校長
藤谷善久	庄原格致高校同窓会副会長
藤光 有	庄原格致高校同窓会副会長
上田知江	庄原実業高校東京支部副支部長
後藤峰登	世羅高校東京校友会理事
小林正治	東京広島県人会
金森裕雄	昭和五年卒 (総領)
室伏孝一	昭和二年卒 (山内西)
田辺良武	昭和二年卒 (比和)
三浦重造	昭和二年卒 (川北)
保田治義	昭和二年卒 (西城)
兼利卓哉	昭和二年卒 (西城)
近藤正昭	昭和二年卒 (庄原)
信清 治	昭和二年卒 (山内東)
飛谷安宣	昭和二年卒 (庄原)
中田唯之	昭和二年卒 (濁川)
生田八洲 紘	昭和二年卒 (西城)
合田良三	昭和二年卒 (川北)
森川邦生	昭和二年卒 (山内西)
迫田芳徳	昭和二年卒 (庄原本町)
田淵統洋	昭和二年卒 (比和)
積山弘住	昭和二年卒 (比和)
光島勝馬	昭和二年卒 (比和)
八谷英樹	昭和二年卒 (庄原本町)
天野昭昭	昭和二年卒 (庄原本町)
大岩征子 (花好)	昭和二年卒 (西城)
寺川勝海	昭和二年卒 (西城)
新山千穂	昭和二年卒 (西城)
池田 強	昭和二年卒 (西城)
小池正之	昭和二年卒 (庄原本町)
塚原通彦	昭和二年卒 (総領)
渡邊千草 (岡田)	昭和二年卒 (同伴者)
渡邊俊昭	昭和四年卒 (高)
井上達彦	昭和四年卒 (川手)
助政千尋	昭和四年卒 (板橋)
田中文男	昭和四年卒 (高野)
戸屋 新	昭和四年卒 (庄原本町)
花村正樹	昭和四年卒 (西城)
宮角孝雄	昭和四年卒 (庄原)
戸丸久恵 野津山	昭和四年卒 (庄原本町)
若山博文	昭和四年卒 (峰田)
新宅 二三	昭和四年卒 (三次)
田邊敬憲	昭和四年卒 (本村)
福場泰藏	昭和四年卒 (庄原)
福場美知留 (市岡)	昭和四年卒 (東城)
奥重秀彦	昭和四年卒 (口和)
吉田玲児	昭和四年卒 (東城)
武広 巖	昭和四年卒 (宮内)
西川 進	昭和四年卒 (木戸)
烟原裕文	昭和四年卒 (比和)
原本政至	昭和四年卒 (口和)
平川公成	昭和四年卒 (本村)
坂口直樹	平成八年卒 (本庄本町)

氏名の中の()は旧姓

二十九年度

総会・懇親会のご案内

十月二十二日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月二十二日(日)に開催いたします。母校の校長先生並びに本部同窓会会長にも案内状を差し上げております。備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 平成二十九年十月二十二日(日)
(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度
懇親会 約二時間(お開きは一五時三十分を予定しております)

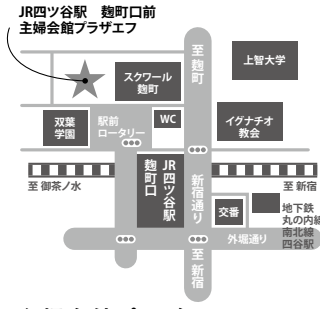
二、会場 主婦会館プラザエフ
(八階 スイセンの間)

所在地 東京都千代田区六番町十五番地
電話 〇三・三二六五・八一二一

三、会費 八千円
(但し女性並びにご同伴の方は六千円)

※年会費(二千円)は、当日受付でも承ります。

総会・会場のご案内



主婦会館プラザエフ
東京都千代田区六番町十五番地
TEL. 03-3265-8111

- ・JR「四ツ谷駅」麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線「四ツ谷駅」1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線「四ツ谷駅」3番出口(徒歩3分)

「」挨拶



東京庄原格致会会長
積山 弘佳
(三五年卒)

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。また平素より東京庄原格致会に対し、ご支援とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年10月23日(日)、主婦会館プラザエフ」における本会の総会・懇親会の際には、今岡讓母校校長先生をはじめ、来賓6名、会員50名の御出席をいただき盛大に開催することができ厚く御礼申し上げます。その模様は別掲の報告にありますので省略させて頂きます。

出席者の方々から「年々会員数の減少・高齢化などにより会の将来的展望に危惧をしている」等、貴重なご意見・ご提案を頂戴いたしました。今後はこれらのご意見を踏まえ各卒業年度別の幹事の増強を図り、女性会員の増加を図るため、皆様からより広く意見を頂きたいと考えております。会の抱える諸問題に役員一同真摯に取り

組み、会の発展のために全力を傾注致す所存です。

東京庄原格致会は、伝統と歴史ある母校の同窓の会として、関東一円に在住される卒業生、在籍された方々で組織され、会員相互の親睦、母校の発展に貢献する事を主な柱として、先輩方が立ち上げられました。この創設の趣旨を受け同窓生相互の親睦をより深めるため、毎年、会報を発行して皆様方に送らせて頂いております。また、西城会、馬洗会の皆さんと共に年2回のゴルフ懇親会、近場の旅行会、囲碁同好会(毎月)を開催し会員の皆様の懇親を図っております。

東京の会員の近況では、昨年は、平成10年卒の、落語家・林家ひろ木(沖上比呂志)さんが、真打昇進の前祝として母校で行われた総会・懇親会の記念講演に招かれ「ひろ木の落語道：格致の魂、百まで」をテーマに見事な落語を披露されました。今年3月に催された真打昇進披露の宴には有志で一ツ橋如水会館にお祝いに駆けつけました。また、書道家・坂口直樹(平成8年卒)さんも今年の母校の文化祭に招かれ、色紙に「心

を込めて書き綴る即興パフォーマンス」を披露されるなど若手の皆さんが活躍されております。会員の皆さんも一緒に盛大に応援しましょう。

また情報交換の場としてホームページを開設して、適宜、会の情報を掲載しております。ぜひ開いて見て下さい。

本校は1897年(明治30年)に建学の祖である小田源吉先生が私塾「格致学院」を創立され、「質実剛健」・「格物致知」を座右の銘に掲げて教育に当たられました。爾来、数多くの優秀な人材を世に輩出してきましたが、本年11月1日に、創立百二十周年の大切な年を迎えることになりました。「学校としても今年生徒の様々な実績の上で成果を示し『格致高校ここにあり』との威勢を示そうと意気込んでやっている」と杉野誠教頭先生から連絡を戴いております。またひとつ輝かしい歴史を刻むこととなりました。県北における学園文化の中心として芸術やスポーツ界での活躍はもとより、全国各地において、あらゆる分野で社会の発展に寄与し貢献され続けることを願ってやみません。

この創立百二十周年記念行事として11月4日(土)に庄原格致高校体育館で記念式典が行われ、その一環として記念講演がありました。当会副会長の福場美知留(45年卒)さんが、「頑張った分だけ幸せになれる」を演題として講演していただく予定になっております。

13時より庄原グランドホテルにて祝賀会が模様される予定になっておりますので、時間のある方は出席して下さいとの事です。

当会としても、この記念事業を成功させるための一助になるように、会員の皆様に、本部からの寄付金要請にご協力いただければ、お願いしてきていけるところですが、重ねてご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今年の総会・懇親会を10月22日(日)に昨年と同じJR四ツ谷駅に隣接する「主婦会館 プラザエフ」にて開催をいたします。関東地方に在住の同窓生の皆様、相集い故郷の懐かしいお話を致しましょう。是非お知り合いの方をお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

会員の皆さまの益々のご健勝・

ご活躍をお祈りし、併せて今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが原稿締め切り後に25年卒の金森裕雄先輩の計報(3月8日ご逝去)が飛び込んできました。金森さんは「東京格致会」創設に当たられ、今日まで会の育成に力を注がれてきました。近年は若い後輩の会の運営を顧問として暖かく見守り、時には厳しく苦言を呈していただいております。永年のご功績に心からの御礼を申し上げます、ご冥福をお祈り致します。

「知性と真理、

良知と実践」



広島県立
庄原格致高等学校校長
今岡 護

校長として4年目を迎えました。同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に対しましてご支援とご協力を頂いておりますこ

とに心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。また、同窓生の皆様は、全国の様々な分野で活躍されており、在校生にとりましても励みとなっております。

本校は、今年度記念すべき創立百二十年を迎え、これまでの伝統と歴史にさらなる一ページを加えるべく、日々教育活動に励んでおります。また、本校のミッションである県北の人材育成校として、グローバルな視野を持ち、庄原だけでなく、広島はもとより日本国内や世界的に活躍できる人材の育成に邁進しているところです。

本校の今年度の教育指針は「知性と真理、良知と実践」としています。

○「知性」とは、単なる暗記による知識とは異なり、「物事を考え、理解し、判断する能力」のことを言い

○「真理」とは、いつどんな時にも変わることはない「正しい物事の道筋、物事の本質」のことを言います。

◇「良知」とは、人が生まれながらに持っている「是非・善悪を判別することができる能力」のことを言い

◇「実践」とは、良知が是と判断したことはその通り行い、非としたことは行わないということを行います。

つまり、「知性と真理、良知と実践」とは、全ての物事の真実を理解したうえで知識として深め、自分の心が「善し」としたことだけを行いなさい、ということですが。これは、本校の校名の由来である「格物致知」の朱子学的解釈と陽明学的解釈を合わせた意味でもあり、現在の生徒に最も必要な資質であると考えています。

さて、本校は今年度、広島県教育委員会が主要施策として取組みを行っている「高等学校課題発見・解決学習プロジェクト」の指定校に2年連続で指定されました。また、国立教育政策研究所の論理的思考力育成事業の指定校の認定も、今年度で実に4年目となります。これらの学力向上に関する取組みだけでなく、「格致生として、地元の庄原市に何ができるのか」という観点から、地域行事の実行委員会への参加や新たな庄原市活性化イベントを企画・実施するなど地域連携にも積極的に取り組んでいます。更に、県立広島大学と協定を結び、庄原キャンパスへの

1年生全員の体験入学を実施し、今年度は県立広島大学の学生の教育実習も予定しています。また、庄原赤十字病院への高度医療見学や医療系進学希望者の体験実習などの繋がりも定着しています。なかでも昨年度、2回目を迎えた「格致『力』検定」では、庄原市役所の各部署との連携や県立広島大学教授等の講話などを参考に、格致生独自の視点から庄原市の活性化案を提言するなど、新たな教育内容の創造にも力を注いでいます。

本校は、学力向上のみを追求するのではなく、習得した知識を知性として活用できることを目指し、豊かな心を育むことにより共感的な人間関係を育成する教育、周囲の人と協働して困難な課題を克服していく力の育成にも尽力しています。教職員一同、全力で生徒の活動を支援し指導していきま



「創立百二十周年を
迎えて」

同窓会会長
片山 孝昭
(三三年卒)

【略歴】
昭和三十三年卒。庄原中PTA会長。六期二十三年間庄原市議会議員。議長、副議長、各常任委員会委員長。
庄原格致高等学校評議員。
庄原格致高等学校関係評価委員。

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

庄原格致高等学校は、明治三十年（一八九七年）、建学の祖である小田源吉先生によって私塾格致学院を創立され、「格物致知」、天地の大道に則って知を磨こうと言う教育の理想を掲げて、格致学院を開校されたのであります。

それから現在の庄原格致高等学校に至るまで、百二十年間、激動する二十世紀から二十一世紀初頭にかけて、庄原格致高等学校は県北の地で、確固たる地位を構築し今日、県北の伝統校として歩みを

続けております。

その間、校名の改変も六回を数え今日の校名になっております。校名の改変の中で、総合制高等学校時代の比婆西高等学校の時、昭和二十五年十二月二十日夜半、大火事となり校舎のほとんどが焼失したのであります。

それから後、昭和三十六年三月末までの間庄原高等学校として存続し、昭和三十六年四月から県立庄原格致高等学校として、元の三日市町の地で受継がれてまいりました。

従って、庄原高等学校の時代には、格物致知の教え、由来についての教育は全くありませんでした。当時通学していた方々にとつて、母校は庄原高等学校という意識が残っており、格致同窓会に対して多少違和感があるのも事実であります。

このことは、募金活動の際、当時の普通科、生活科については、格致同窓会に帰属するとの説明も時には必要であります。大體理解はして頂いておるようでありま

す。しかし、生活科の方々は、庄原実業高等学校からも、寄付或いは募金等の協力要請もあるので、今

回の募金については、否定的な考え方の同窓生が多いようです。それから、平成二十八年九月発行の東京格致会報に寄稿させていただき、百二十周年記念事業の概要について、報告をし、協力要請をしたところでありました。

そして昨年六月には、「百二十周年記念事業趣意書」を作成し、事業概要についても記載して、庄原市在住の方、東京・近畿・広島庄原格致会の方々をはじめ、全会員へ発送し協力を要請したところでありました。

旧庄原市では、募金チームを編成し会員を訪問し活動をしております。

計画通り募金が出来れば、事業も完遂できますので、今年八月末日を目標に全力を挙げて活動してまいります。

そして今年の会報は七月中の発行を予定しております。合わせて百二十周年事業の趣意書、募金振替用紙等も同封致しますので、まだ募金をされていない方につきましては、出費多端の折柄、誠に恐縮ですがご協力の程よろしくお願い申し上げます。

庄原市内では、これから企業訪問し募金の要請も始める予定であ

ります。

募金の状況報告を致しますが、五月末現在で、九百四十万円余の募金が集まっております。

目標まで残り三百六十万円余となっております。

これから、市内に於いて総力を挙げて募金活動を展開し、目標達成を期する決意であります。来る十一月四日には、格致高等学校体育館に於いて記念式典、事業報告・祝賀会は庄原グランドホテルを予定しております。

東京庄原格致会の会長様をはじめ多数ご参加下さいますようお願い致します。

終わりに当たり、東京庄原格致会の発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶と致します。

会員だより

格致高校を卒業して44年

原本政至 (四八年卒)

東京格致高校同窓会の皆様、お

変わりなくお過ごしのことと思います。

昭和48年卒業生です。

七塚原牧場で新入生歓迎会、そこで初めて聞いた応援歌。山口県室積での臨海学校、そこで初めて海で泳いだ！格致高校の校舎で陸上部夏合宿。秋の文化祭と体育祭。三井野原のスキー教室等を懐かしく思い出します。

当時は、戦争で生死を分ける程の傷を負いながらも生還された先生方や、呉で空襲にあわれた先生も教鞭をとっておられました。校舎は数棟を除き木造モルタル造りでした。掛田橋から格致高校手前までの道路は未舗装でした。芸備線は蒸気機関車も走っていました。

格致高校卒業後、京都の大学へ。東広島市の機械メーカーに就職。東京へ転勤。20年前、米国ヒューストン市に家族と共に駐在中、格致高校の東校長先生が長男の体験入学を受け入れてくださり、夏休みを含む3ヶ月間、授業やクラブ活動を在校生と楽しく過ごさせて頂きました。東校長先生は、以前、口和中学校で教鞭をとられており、親子でお世話になりました。帰国後、東広島、東京で勤務し、タイ国バンコク市へ5年弱単身で

駐在。2年前に東京で定年、嘱託としてそのまま継続勤務。定年までに33ヶ国へ150回ほど出張しました。昨年末、10年来携わったプロジェクトの完成を見届けた後、希望して東京から東広島へ最後の転勤、単身赴任中。格致高校での経験が、長い人生の折々に助けてくれたと信じています。

在校時に人生の伴侶を見つけた事が私にとっては何よりの成果でした。苦勞をかけながらも、共に長い人生を過ごしてくれたものだと今更ながら感謝しています。

肥満や高血圧対策の為、4年前から自転車を始め、東広島周辺、とびしま海道、呉・江田島等で楽しんでいきます。3月には、東広島から道端に残雪がある口和の実家



へ、2日かけて往復160キロを10時間で走りました。こちらにいる間、庄原や近郊を走りたいと思っております。

では、同窓会で皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。

「二つの宝物」

落語家 林家ひろ木

(平成十年卒)



「おきがみいー!! ペースが落ちてるぞー!!」

落語家になる7年前、私(本名オキガミ)は格致高校の陸上部でした。

長距離部に所属し、多いときには1日20キロは走っていたでしょうが。根性がない私は、いつも顧問の先生に冒頭のようにゲキを飛ばされてきました。

その先生の名前は、名誉の為に

決して言えませんが、小川珠美先生という、当時は鬼軍曹に思えた女性教諭です。

「何やってるんだー」「しつかりしろ！」叱られる度に身体が硬直した覚えがあります。

しかし、そんな先生に、三年時には長距離部のキャプテンに任命されました。これは、決して実力やリーダーシップを認められたからではありません。最高学年の部員が私しかいなかったからです。でも、仮にもキャプテンになった私はなんとか部員をまとめなければと必死でした。授業を聞くふりをしながら、陸上マガジンを隠れて読み、放課後の後輩達の練習メニューに毎日頭を悩ませていました。

勿論すぐには成果はでませんでした。努力の甲斐あってか、最後の県の駅伝大会では、格致高校陸上部での歴代最高順位でゴールできました。

紛れもなく、私が落語家として15年も続けていられるのは、この陸上部時代にウケた愛のムチのお陰だと思っています。また、当時の仲間、先生方のご縁が僕の嘶家人生を支えてくれていることは間違いないです。故障やキツイ練

習を乗り越え、同じグラウンドを何十、何百周と走った陸上部仲間。寝食を共にし、遅くまで語り合い、時にはお風呂でイボをうつしあった寮の仲間。

イケメングループや、秀才グループ、個性派グループなど、分け隔てなく語り合い、切磋琢磨したクラス仲間。広い心で、温かく見守り続けてくれた先生達。

三年間で積み重ねてきた絆が、何十年と時を経ても変わらず、今の私を応援してくれています。正に青春でした！と、胸を張って言える、とても幸せな高校生活でした。

その後、私は卒業後の進路をスポーツトレーナーと決め、東京の大学に進学したのですが、ここからの四年間はもう……。ありとあらゆる場面で挫折をし、悪夢のような時を過ごすことに……。そして暗闇で彷徨う中、ついに眩しい光を発見！それが木久扇師匠だったのです。

ここからの珍道中は、正に落語そのもの！笑いあり、ズッコケあり、涙は殆どなしのドタバタ人生なのですが、真打昇進披露興行に際しましては、格致高校OBの皆様に、たくさんの熱い熱い応援を

頂きました。この場をお借りして、深く深く御礼申し上げます。たくさん笑いを届けられるよう精進致しますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

母校だより

平成28年度 報告

庄原格致高校 教頭 杉野 誠

毎年繰り返される格致高校の歩みの中で、平成二十八年度は、これまでとは一段も二段も違った形で、生徒の活躍が目立つ年となりました。

広島県では、先行き不透明な時代に生きる今の子どもたちが、「広島で学んでよかった」と言える教育の創造を目指して、「広島版『学びの変革』アクションプラン」を示し、「コンピテンシーベースの主体的な学び」に取り組んでいます。

昨年も報告しましたように、本校はその発表当初から、全県をけん引する実践を展開しております。

す。今回はそれらの中でも特筆される生徒会活動を中心に報告します。

まず、一昨年からスタートした「高校生による中山間地域わくわく事業（中山間地域の次代を担う高校生に、地域活性化に取り組むことを通して地域愛を育て、次世代のリーダーとして育成しようとするもの）」をベースに、「庄原よいとこ祭」に実行委員として参加しました。商工会や行政の人たちに伍して、郷土の夏の代表的な行事である同祭を大いに盛り上げる原動力となっています。

さらに十二月中旬には、一昨年度に引き続き、一・二年生全員が



生徒会執行部が宇田議長に庄原活性化プランのプレゼンを実施

郷土の課題を学習したうえで六人ずつのグループを作り、二日間の討議の末自前の改善策を提案する、第二回「格致『力』検定」を開催しました。

ところで、前年度のこの取組を発展させて生徒会執行部が独自の地域活性化プランを作成したことは、昨年度ご報告したとおりですが、その後さらに素敵な展開がありました。

平成二十八年四月、地元の庄原青年会議所主催の「高校企画力コンテスト」に生徒会の企画を提案したものの、グランプリを逃してしまいました。「実現性」に課題があるという理由でした。練りに練ったものだっただけにショックは大きかったのですが、これを見た青年会議所の有志が、生徒会と協同で任意団体を立ち上げ、企画の実現に向けて動いてくれました。そして、5か月にも及ぶ準備の末、十一月に「スイーツピクニック」として結実したのです。

これは、旧庄原地域の悉皆アンケートを基に、地域の課題を捉えて、その解決策を含みつつ、地域の活性化をも狙うものとして企画されたもので、庄原の誇る上野池の周回コースに配されたスイーツ

ポイントで地域名産のスイーツを味わいながら、ハイキングをも楽しむものです。青年会議所の有志の応援を得たとはいえ、部門の責



スイーツピクニック スタート地点の様様

任者はすべて高校生が務め、まさに無から有を生み出す挑戦を行いました。

長い長い挑戦の後迎えた当日、なんと中四国から千名近くのお客様が訪れてくださいました。すべてをやり終えた生徒たちの顔は何とも誇らしげでした。

後輩たちは努力を重ねるとともに、着実に成長してきております。今後とも後輩の活躍にご期待ください。また、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

郷土だより

庄原市の産直施設

藤原敦善

(三三二年卒)

四季折々に装いを替える豊かな自然と、歴史に恵まれた伝統文化、そして日本の「さとやま」に出会える町庄原。

「はらあ（春は）、にがみい盛れ。なつああ（夏は）、酸味い盛れ。あきやあ（秋は）、香りい盛れ。ふやあ（冬は）、辛みい盛れ。」昔の人はあ、うめえことゆうたもんです。はらあ（春は）、庄原で採れるにげえ（にがい）山菜を食うてくれんさいよ。昔懐かしい庄原の、旬の野菜の食べかたの言い伝えです。年配の方は、おお、母から聞いたことがあるぞと、思い出される方もおいでと思えます。

「雪がとけ、やわらかな陽射しのなか、あたらしい芽が芽吹く季節・春、あつたかい田舎の温もりを求めて、おつちら（のんびり）」と、庄原を散策してみません

J E W E L E R
miwa

東京都中央区銀座6-7-2
TEL. 03-3572-5011
http://www.miwaj.com

体がよろこぶ!

「効く」漢方の正体

東京庄原格致会会員が上梓しました

薬剤師 恵木 弘著 (株)東洋薬行社長 定価 1050円(税込)

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らないと損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで

か！きつとやさしい気持ちになれますよ・・・」ではじまる「しようばら 里山の旬だより」ポケット版。庄原産の旬の野菜を少しでも身近に感じ、そして愛情を持って食べてほしいと、食農ネットワーク庄原委員会が、「食彩館しようばらゆめさくら」便りとして発刊したのが二〇〇二年の春でした。

庄原市でも、少子高齢化の波は避けてくれず、年々労働人口は減少し、特に農村部における減少が顕著で、後数年後には集落の崩壊が起こる地域が出るのではないかと、内心密かに思っています。

こうした中で、農業生産の面からも庄原市を少しでも、元気にしようとして、故八谷泰央市長の発案で、新庄町、現「かんぼの郷庄原」のふもとに、「庄原の旬の食材が一堂に集まる場所」として、平成一四年春に「食彩館しようばらゆめさくら」が建設されました。新鮮で安全で安心はあたりまえのこと、庄原は空気がきれいで、景色がよく、沢山の美味しい農産物が生産されている。食の安全安心を背景に、消費者は地域で生産された農産物を求めて集まっています。

市内の生産者一八〇名に参加を求め、それまで各地域で行われていた直売所を縮小、または解散して参加された方もありました。

直売所は多品目で少量の農産物を地域内で流通させるシステムの一つです。女性や高齢者らによる「小さな農業」を元氣付けています。もちろん専門的な農家は地域農業の中核として働き、直売所は定年退職者、新規参入者らが作った農産物も販売できる場を提供し、地域の農業振興に寄与している点が大きいのと思います。

地元庄原市内産の新鮮な農産物の販売にこだわり開設以来右肩上がりで販売額を伸ばし、開設十四年で年間販売額が二億円を少し切る額で推移しております。

朝どり市の売上額ランキングは
 ①切花 ②漬物 ③もち ④トマト ⑤柏餅 ⑥ぶどう ⑦アスパラガス ⑧ほうれん草 ⑨昨年は松茸 ⑩なし 香茸 となっており、販売アイテム数は、二百二十品目となっています。

平成二十四年四月、中国横断自動車道 尾道・松江線の開通に伴い開設された自然豊かな広島県最北端のまち庄原市高野町に「道の駅たかの」が誕生しました。庄

原市の北の玄関口として 人・モノ・情報の発信拠点をめざしています。地元農産物や安心・安全にこだわった「高野の逸品」、豊富な山の幸などを生かした食事や観光情報などを発信しています。

その他、東城町の遊YOUさろん東城 東城きんさい市場 口和町のモーモー物産館、総領町の道の駅リストアステーション、比和町の特産市場等、庄原の旬の農産物を販売する施設が皆様をお待ちしています。里帰りされた折、是非訪ねて見てください。



【囲碁同好会】

近藤会長急逝

後任に合田良三さん

二十九年度上期カップ杯争奪戦 加藤雅男三段が庄勝 準優勝に新山千樫さん

平成十二年十一月に発足した囲碁同好会はこの六月で第190回



庄原さくら温泉

かんぼの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士 (昭和48年卒)

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応
 八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL : http://www.h-soken.com/ E-mail : nisitani@h-soken.com

を迎えました。創設に携わられた沼越達也さん、藤高明さんが体調不良で昨年脱会され、近藤正昭さんが昨年十二月に急逝されるなど哀しいことが相次ぎましたが、現在には合田良三会長（33年卒）を中心に13名の会員で毎月第二日曜日（新宿の囲碁サロン）喜楽（☎03-3341-4545）で楽しく碁盤を囲んでおります。

初心者から有段者まで気楽に参加されませんか!! 興味をお持ちの方は事務局の八谷英樹（35年卒 ☎090-11105-7272）までご一報ください。大歓迎です。

二十九年上期のカップ杯争奪戦は一月から五月までの戦いを勝ち抜いた上位8人により、六月十一日（日）に決勝トーナメント戦が行われました。

五月までの予選をトップの成績（12勝8敗、勝率・6割）で勝ち上がった加藤三段（西城出身、広島電機高校・37年卒）が無敗で勝ち上がり、決勝戦で敗者復活戦から勝ち上がった新山千樫さん（2級・西城出身、35年卒）を破り見事に優勝、優勝賞金をゲットしました。三位には坂部賢治さん（八

段・東城出身、53年卒）が入りました。

皆さん、同好会加入はともかく、熱戦の中でも和気あいあいのこの雰囲気味わいに一度お出かけになりませんか!!!。

囲碁サロン『喜楽』はJR新宿駅東口から約5分の場所、東新ビル8階です。



囲碁同好会入賞の皆さん(左から坂部さん、加藤さん、新山さん)



囲碁同好会決勝戦の加藤さん(左)と新山さん

【ゴルフ同好会】

第2回東京庄原格致会、東京・西城会、東京馬洗会合同ゴルフコンペ開催

4月11日（火）、合同のゴルフコンペが、千葉県野田市紫あやめ36カントリークラブ西コースで開催されました。第2回目となった当コンペは、昨年秋季の第1回合同コンペでの決定に基づき東京庄原格致会の亀井薫三さんに幹事を担当していただきました。当日は、天気予報通りあいにくの雨でしたが、そこはゴルフ好きの面々、18名が参加し、雨に濡れながら昼食もスルーし、14・30全員がホールアウト。和気あいあいの楽しいコンペでした。競技方法は新ペリア方式で行われ、戦績上位者は以下の通りです。

参加者氏名

【東京庄原格致会】合田良三、生田八洲紘、亀井薫三、武広巖
 【東京庄原格致会、東京・西城会】兼利卓蔵、新山千樫、寺川勝海
 【東京・西城会】戸田政則、杉浦次雄、明石吉雄

創業38年



二階堂調剤薬局グループ

代表取締役 薬剤師
石井 美佐子
 (旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

まへの薬局本店 二階堂調剤薬局
 まへの薬局北口店 大山調剤薬局
 まへの薬局南口店

東京都板橋区南常盤台 1-30-21
 TEL 03-3958-9955



順位	氏名
優勝	武広 巖 (東京庄原格致会)
準優勝	竹岩康良 (東京馬洗会)
三位	中村 正 (東京馬洗会)
四位	瀬尾裕史 (東京馬洗会)
五位	亀井薫三 (東京庄原格致会)

京馬洗会 岩竹康良、中村正、瀬尾裕史、秋山律、加藤勝、眞野積、杭迫重臣、立花茂人

次回開催は
10月30日(月)に予定しています

その後、イザナギ・イザナミノミコトが奉られている筑波山神社に参拝しました。その後、湯葉豆腐会席料理の「つくば山水亭」で昼食になりました。前会長の合田さんの乾杯のあと、ビール・日本

旅行幹事 助政千尋(40年卒) 昨年9月10日(土)晴天に恵まれ、午前8時過ぎに新宿西口の工学院前から西武バスにて東京・西城会との合同バスハイクに会員など31名が乗車しました。首都高から常磐道に入って行きました。東京・西城会の旅行幹事の加藤さんなどユウモア溢れる挨拶がありました。守谷SAから渡邊さん夫妻が乗車されて女性11名を含む総勢33名でした。宮脇駅からケーブルカーで筑波山山頂駅に向かい、ケーブルカーは傾斜20度くらいで急斜面をゆっくり登っていきました。山頂での見晴らしは雲一つなく、元気な人は少し離れたガマの岩まで登って行かれ、多くの人は御幸ヶ原の散策をしました。

【バス旅行】 東京・西城会との 合同バスハイク



酒・焼酎を頂きました。昼食後は、バスにて松戸市内の「むつみ山口農園」にて梨狩りをしました。梨園のテーブル上には取り立ての「秋月」「豊水」が皿に盛り立てられました。大変美味しい梨でした。梨狩りは一人2個まででしたが5〜10個も買った人もいました。帰路のバス内では自己紹介のあとビンゴゲームなどをしました。車内のテレビでは広島カープと巨人との試合が放映されており、その日は黒田投手が投げ勝って広島カープが優勝を決めた日でした。

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。

CRESCO ARS COMMUNICATIONS Co., Ltd.

株式会社
クレスコアースコミュニケーションズ

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 2-2-5 CTN ビル 7F
TEL.03-5207-5189
www.cresco-ars.co.jp

食彩館しょうばら

ゆめさくら

庄原のお土産は、
「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！
お食事・仕出しは、お食事処 花ほぼろで !!

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422
〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま
代表取締役 藤光 有 (昭和40年卒)

平成28年度東京庄原格致会会計報告

(自平成28年7月1日～至平成29年6月30日)

(単位：円)

一般会計収支報告書

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 金額, 金額. Rows include 前年度からの繰越金, 年会費, 広告収入, etc.

基金会計収支報告書

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 金額, 金額. Rows include 前年度からの繰越金, 受取利息 (基金), etc.

財産目録 (平成29年6月30日現在)

Table with 4 columns: 郵便局, 振込口座, 金額, 金額. Rows include 振込口座, 一般口座, 基金口座, etc.

左記のとおり報告致します。平成29年7月23日 東京庄原格致会 会長 積山弘佳 監事 遠藤靖夫 監事 塚原通彦 事務局長 (会計) 武広 巖

東京庄原格致会役員名簿 (二十七年十月十八日)

Table with 4 columns: 顧問, 会長, 副会, 幹事, 監事. Lists names and terms of office for various roles.

編集後記

☆校長先生、教頭先生、本校同窓会会長には、ご多用のところ早くご寄稿いただきありがとうございます。豊かな自然環境に恵まれ、広島県「県北の勇」として素晴らしい教育理念のもと、自ら「庄原活性化プラン」のプレゼンを行うなど、とても素晴らしい活躍をされております。

☆今年も暑い夏でしたが、我が広島県民の誇りである「カープ」はシリーズ優勝2連覇と33年ぶりの日本一を目指してますます活躍中です。既に3回神宮球場に足を運んで真っ赤なカープファンとともに応援しました。得点が入った時に歌うカープの応援歌が大好きです。カープファンが全員立ち上がって「宮島さんの神主が おみくじひいて申すには 今日もカープは勝ち！勝ち！勝ち！勝ち！バンザイ！バンザイ！バンザイ！」と大合唱です。そして、周りのカープファンと応援グッズのミニバットでハイタッチ！ストレス発散には最高です。ぜひ一度球場に足を運んでみてください。

☆今年も暑い夏でしたが、我が広島県民の誇りである「カープ」はシリーズ優勝2連覇と33年ぶりの日本一を目指してますます活躍中です。既に3回神宮球場に足を運んで真っ赤なカープファンとともに応援しました。得点が入った時に歌うカープの応援歌が大好きです。カープファンが全員立ち上がって「宮島さんの神主が おみくじひいて申すには 今日もカープは勝ち！勝ち！勝ち！勝ち！バンザイ！バンザイ！バンザイ！」と大合唱です。そして、周りのカープファンと応援グッズのミニバットでハイタッチ！ストレス発散には最高です。ぜひ一度球場に足を運んでみてください。

☆会報の発行に際し、広告を頂いた広告主の方、ご寄付を頂いた会員の方々に礼を申し上げます。

☆執筆依頼・校正等でご協力頂いた編集委員の方々にお礼を申し上げます。

(事務局)

ホームページ活用のお願い
http://www.t-shobara-kakuchi.com
ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。

年会費の納入のお願い！

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。御一人 2千円をお願いしております。お送りして頂きます振替用紙で入金いただきますよう、よろしくお願ひします。

「ご寄付をありがとうございました。」
この一年間に次の方々からご寄付などをしていただき、心よりお礼を申し上げます。

- 山田健太郎様 (二三年卒)
酒井久幸様 (二五年卒)
平川智子様 (三八年卒)
守長和子様 (四一年卒)
吉田順次様 (四六年卒)
多々美香住様 (五〇年卒)
穂崎憲二様 (六〇年卒)

ご逝去のお知らせ

平成二八年度総会でお知らせした後、事務局で把握しておりますご逝去された会員の方です。

- 金森裕雄様 (二五年卒)
平成二九年三月ご逝去
近藤正昭様 (二八年卒)
平成二八年一二月ご逝去
謹んでお悔やみを申し上げます。